

## 第24回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時平成24年9月18日(水)14:15~16:30

2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室

3. 出席者 環境監視委員

学識経験者:金谷委員長

住民代表:中島(茂)委員、東委員、中邨委員

事業者:尾上委員、深川委員

滋賀県:水嶋委員

甲賀市:立花委員、広岡委員、藤田委員

事務局:財団法人滋賀県環境事業公社

畑副理事長、谷口所長、中村副所長  
西村参事、堀井参事員、山本主任技師



4. 議事概要

(1). あいさつ(公社 副理事長)

(2). 活動内容報告

1)水質検査結果等について .....資料1

2)搬入実績報告について .....資料2

3)平成24年度クリーンセンター滋賀第2-1期施設整備工事について .....資料3

4)その他

### 【主な意見および質疑】

(水質検査結果について)

・河川水として次郎九郎川の調査を実施しており、クリーンセンター滋賀の事業実施区域の上流として St.9 の地点で調査されているが、甲賀埋立処分場の放流水の放流先にもなっている。甲賀埋立処分場の放流水の影響は確認しているのか。

→甲賀埋立処分場についても、河川水の調査とあわせて放流水の調査を実施し、河川水への影響がないことを定期的に確認しています。クリーンセンター滋賀環境監視委員会はクリーンセンター滋賀の事業について円滑な運用を図ることを目的としていることから、クリーンセンター滋賀に関する内容を報告させていただいていますが、河川水については甲賀埋立処分場の放流水の影響もあることから、今後は甲賀埋立処分場の水質調査結果についても参考資料として添付させていただきます。

・水質調査結果について、下水道に投入していることから下水道管理者等に報告はされているのか。

→甲賀市等の関係者あてに毎月報告しています。

(放射線測定結果について)

・測定された数値について、搬入された廃棄物による影響なのか自然界に存在するものなのか資料からは読み取れない。放射性廃棄物は搬入されていないと思うが、どのように判断されているのか。

→処分場内および周辺地域でも測定を行っていることからその比較で問題ないと考えています。次回の資料作成時には表現方法等を見直します。

・滋賀県内での測定結果等も記載すると、地域別の高低や変動幅等も分かるのではないかと。

(搬入実績報告について)

・搬入制限は具体的にどのような方法でされているのか。

→平成 23 年度と同程度の搬入量では受入停止をせざるをえなくなることから、平成 24 年度は搬入量を一律 25% 減となるようお願いさせてもらっています。

(第 2-1 期施設整備工事について)

・第 1 期の埋立部分に触れた水が第 2-2 期の工事部分へ流入しない対策はどうするのか。

→勾配があるため、基本的には第 2-2 期の部分へは流入しないと考えていますが、さらに事前に第 2-2 期の手前側に水路を設け、第 2-2 期の部分へは流入しないようにします。水路の水は水処理施設にて処理します。

・遮水シートの接合部分はどのように施行するのか。

→シートの接合部分は水の進行側のシートを下側にして接合し、水が流入しないようにします。また、重なり部分は 10cm 設け、熱溶接にて溶着します。

・遮水シートの接合部分の検査はどのようにするのか。

→熱溶接は重なり部分の両側で行うため、間に空洞ができます。その間に空気を入れ、圧力値を確認します。検査方法については規格があるため、それに基づいて行います。

・地元に対して工事の説明はどのように行うのか。

→明日、地元代表の方に説明し、今後の説明方法等について確認を行うところです。

・第 2-1 期工事にあわせて通常の埋立作業もあると思うが、基本的な考え方はどうなっているのか。

→工事車両については常時運行するわけではないので、廃棄物の搬入は通常どおり行います。工事については、埋立部分周辺に作業スペースを設け、工事作業が埋立作業に影響しないようにします。

・作業スペースは別とのことだが、廃棄物搬入車両と工事車両が交差する場所があるので注意願いたい。

・工事の際は事故がないようにしていただきたい。

→埋立作業、工事作業で十分に打ち合わせを行い、事故がないようにします。

・搬入制限もされているとのことなので、埋立残容量と工事の進捗状況を十分に管理して実施していただきたい。

・工事が終わればすぐに 2-1 期部分への埋立作業は行われるのか。

→工事完了後、県による確認をしていただきます。問題がなければ 2-1 期の埋立部分に埋立を行います。

◎次回、環境監視委員会は12月頃開催予定。